

音楽の隠し味 Op.10

このコーナーでは、作曲家や有名曲の意外な一面を知ること
でクラシック音楽をより楽しめる「隠し味」をご紹介します。

ピアニスト 白川 優希

第10回目はブラームスです。

ブラームスは、「ベートーヴェンの後継者」と評価されていました。ベートーヴェンが崇められていた時代に「後継者」と呼ばれる事は、同世代の作曲家にとって羨望の眼差しが向けられるような名誉です。今回はそんなブラームスが常に意識をしていた「古い音楽」が隠し味です。

ブラームスは古い音楽に人一倍関心を持っていました。彼はとにかく勤勉家で、ありとあらゆる時代の楽譜を入手し、研究を繰り返します。自宅には約2000冊もの楽譜があったそうです。古い音楽は、ブラームスの作品へどのような影響を与えたのでしょうか。

1世代ほど前、彼と同じ土地ウィーンで活躍した作曲家は、ベートーヴェンです。ベートーヴェンは、これまでの時代における音楽の集大成といえる素晴らしい楽曲の数々を残しました。非の打ち所がない作品に一番困ったのは後世の作曲家です。新しい交響曲、ピアノ曲、室内楽曲、何を作ってもベートーヴェンは越えられない壁として大きく立ちはだかりました。ブラームスも例外ではありません。「ベートーヴェンという巨人が背後から行進してくるのをきくと、なかなか交響曲を書く気にはならない」と苦戦しました。それによって一曲の品質にこだわり、最初の交響曲を書くのに考案から完成まで21年もかかっています。やっと出来上がった交響曲第1番Op.68は、「ベートーヴェンの新しい交響曲」と、多くの人に愛されています。

彼と同じく、ベートーヴェンを尊敬していたのは、シューベルトです。シューベルトは巨匠の葬儀に足を運び、「一体誰にもっと良い作品が書けるというのだろうか?」と、彼もベートーヴェンが作り上げた壁の高さに悩みました。しかし、晩年にはベートーヴェンに続く名曲の数々を生み出します。そして、これまで軽い音楽と見られていた「歌曲」というジャンルの底上げに成功しました。

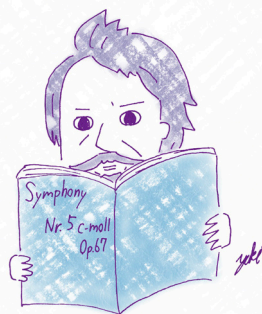
ブラームスは、作曲のレッスンにて生徒に「シューベルトの歌曲の中で、人が学べないような歌曲は一曲たりともない。」と話していたそうです。そしてシューベルトがお気に入りだったレストラン「赤いはりねずみ」に毎日通うくらい、尊敬と憧れを持っていました。彼の作品には、シューベルト歌曲の特徴「ベースライン」の美しさが活かされています。

ブラームスにとっては「民謡」も古い音楽のひとつです。彼はドイツ民謡を片っ端から調べました。民謡のリズム、メロディの作り方など、音楽的な部分が作曲の中で多用されています。民謡の歌詞やメロディをそのまま採用して創作し

た曲もあるくらいです。地域に根付いた音楽を使うことで、人間的な愛情や自然の豊かさを表現しているのです。

当時の音楽的な流行は、曲の中で速度が大きく変化したり、複雑な和音を使うことだった為「時代遅れ」と言われる事もありました。しかし、ブラームスは断固、古い作曲スタイルを守り抜きます。なぜなら彼は、昔からある作曲法を使って一歩先に進んだ作品を目指していたからです。

ブラームス作品の魅力は、古典的な作曲技法の中にモダンな一面がある所にあります。ベートーヴェンから高い壁を目指す意識、シューベルトから美しいベースラインなど曲の構成、民謡から地域に根付いた独特なメロディを学んだからこそ出来る事なのです。「古い音楽」はブラームス作品の隠し味となっているのではないのでしょうか。



📌 おすすめの一曲

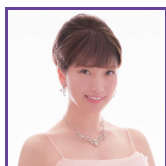
ブラームス/ピアノソナタ第1番 Op.1

ブラームスの生きた19世紀では、批評雑誌が出版され、有名音楽家が若手を評価しました。この曲は、その雑誌で「ベートーヴェンの後継者」として取り上げられて注目が集まった、いわゆるデビュー作です。

この曲の第1楽章にて、ベートーヴェンのピアノソナタ第29番『ハンマークラヴィア・ソナタ』第1楽章冒頭のリズムとメロディを用いてる事、ベートーヴェンと同じく曲が精密に作り込まれている、という点から「後継者」と書かれたのでしょうか。『brahms piano sonata 1』で検索するといくつかの音源が見つかるので是非聴いてみてくださいね。

主な参考文献

西原稔(2005年初版、2006年第二刷)『音楽史ほんとうの話』音楽之友社
村田千尋(2004年初版、2016年第九刷)『人と作品』シューベルト 音楽之友社
日本ブラームス協会(1997)『ブラームスの「実像」』音楽之友社
門馬直美(1999)『ブラームス』春秋社
ウォルター・フリッツシュ/天崎浩二訳(1999)『ブラームス 4つの交響曲』音楽之友社
作曲家別名曲解説ライブラリー(1993)『ブラームス』音楽之友社
渡辺茂(1995)『ブラームス』芸術現代社



白川 優希 Yuki Shirakawa

横浜市立南高等学校普通科卒業。桐朋学園大学ピアノ科卒業。これまでに井上節子、川島伸達各氏に師事。阪急交通社「たびコト塾」有料音楽講座にて講師兼演奏。

メディア

- ・NHK BSプレミアム 特別ドラマ「黒蜥蜴 ～BLACK LIZARD」ピアノ演奏。
- ・テレビ朝日系列「はじめまして、愛しています。」ピアノ監修。
- ・フジテレビ系列「世にも奇妙な物語「シンクロシティ」」ピアノ協力(自身出演・演奏)。